

④ 隠れた名品
一宮の海苔

一宮は知る人ぞ知る、海苔の名産地！品評会でも高い評価を得ています。瀬戸内海では「浮き流し」という手法で育てるため、葉がやわらかく、香り高く仕上がります。ほとんど市場に出回らないので、お土産におすすめ！

SHIDOには土でできた
モニュメントもあり
土の可能性に驚きます！

老舗土壁メーカー
による土のアート
ミュージアム！
展望台からは
多賀の浜と海を
一望♪

土のミュージアム
SHIDO

多賀の浜駐車場

1.5kmの
ロングビーチは
夕日の名所♪

多賀の浜 海水浴場

⑤ お香の町

一宮に来たら、まず深呼吸してみてください。
やわらかなお香の香りが町のあちこちに漂っています。
一宮は日本に初めてお香が伝わった場所。町の北西にある「枯木神社（淡路市尾崎：地図外）」に香木が流れついたと日本書紀に記されています。1850年ごろからは海が荒れる冬季の労務対策として、江井地区で線香作りが始まりました。物資の輸送に困らない良港と冬の乾いた季節風が乾燥に適していたため、堺から技術を導入。生産は一宮一帯へ拡大していきました。現在は、お香のギャラリーやお香作り体験ができるスポットも。ぜひお気に入りの香りを見つけてみてください。⑧ = お香のショップ・ギャラリー

香を焚くことで心身を清めると同時に、仏様の慈悲の心を表していると言われています。

⑥ く に う み 神 楽（淡路国生み創生神楽）

くにうみ神楽（淡路国生み創生神楽）は淡路島の「国生み伝承」を舞や音楽、語りで伝える地域発の神楽。地元子ども～大人まで約30人で運営しています。小学生から大学生までの子どもが神々や鳥々の役を務め、稽古を重ねて舞台に立ちます。伊弉諾神宮には伝統ある「淡路神楽」が伝承されていますが、出雲や高千穂には古事記にちなんだ神楽がありますので、これにならって平成23年に「くにうみ神楽」が創作されました。代表の嶋本かおりさんは「子どもたちには始まりの地・淡路を誇りに思ってもらいたい」という思いと共に「神楽は神様とのコミュニケーション。毎月奉納することで、あたり前ではない日常に感謝し、心を改める日にしたい」と語ります。

毎月22日に伊弉諾神宮で夜神楽として奉納されており、どなたでも観覧できます（詳細はせきさいの里で検索・4/22は例祭のためお休み・9月は神楽祭を開催）。

【国生み伝承とは？】

古事記では伊弉諾・伊弉冉二柱の大神が大海原をかき回し、矛の先の滴が固まってオノコロ島ができ、そこで夫婦となられた二神から最初に生まれたのが淡路島。続いて四国・九州・本州など大八嶋と呼ぶ日本列島が生まれ、さらに海・山・風などの神々も誕生しました。淡路島は民族の発祥を物語る「はじまりの島」なのです。

多彩で
⑦ 豪華絢爛な
だんじり

【街歩きのマナー】

- ・路地は静かに、歩きましょう。
- ・民家に勝手に立ち入ったり、私物には触らないで！（※私有地の植物も私物です。勝手にとらないで）
- ・個人の物を撮影する時は同意をもらいましょう。

散策ルート
所要時間の目安

多賀の浜駐車場～伊弉諾神宮まで：徒歩約25分（片道2km）・多賀の浜駐車場～薫寿堂まで：徒歩約10分（片道800m）

※徒歩での散策がおすすめですが、あわ神あわ姫バスもご紹介します。発行日：2025年11月 発行者：淡路市役所 産業振興部 商工観光課

ジビエ餃子の自動販売機！？

移住者はちゃんが作る淡路島のイノシシや鹿を使ったジビエ餃子やハンバーグの無人販売所。「餃子の神社」をイメージした異空間も必見です！

一宮産の海苔を販売！
ファミリーショップ
まつもと

淡路市
一宮事務所

濱神社

あわじ和牛亭（焼肉）

鳥ぎょうざ
はるちゃん

とうげ（精肉）

淡路一宮
郵便局

警察

玉ねぎの産地
ならではの景色！
玉ねぎを吊るして
貯蔵するための
小屋です。

薫寿堂

玉ねぎ小屋

春に散策したい
川沿いの桜並木

にいど

4/22神幸式 帰りルート

田んぼが広がる
のどかな景色

柳之御井神社

伊弉諾神宮

一宮多賀
郵便局

津名一宮IC

激しく左右に揺れる
パフォーマンスは荒波を
進む船そのもの！

舟だんじり

だんき
だんじり

形は船の一部が
モチーフ！

国生み伝承を
描いた彫刻も！

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

だんじり

祈
さんぽ
一宮MAP

【一宮の歴史】一宮の中心地・郡家の地名は、昔の役所（郡衙）があったことに由来します。江戸時代には西隣の江井港の発展により、郡家に物資が集結。芸者の置き屋がいくつもあり、昭和には西浦一帯の「買い物のみち」として商店街がにぎわいました。1995年の阪神・淡路大震災で大きな被害を受けましたが、町を元気にしようと新しい取り組みが広がっています。

一宮をもっと楽しむ！
7つのツボ

① 濱神社（濱之宮）

伊弉諾神宮の摂社で、御祭神は本宮と同神。伊弉諾尊が筑紫国日向より帰られた際の上陸地で、多賀に幽宮を構えて閑居するまでの間の居処であったとされています。毎年4月22日前後は濱神社の鳥居の真真中に陽が沈みます。神幸式では、伊弉諾神宮の神輿が御旅所へ渡御し、濱神社の例祭と同時に御旅所祭を執り行う奇祭があります。

② 神様の結うとおり

伊弉諾神宮から郡家商店街を抜け、濱神社へと続く「神話で結ぶ」散策ルート。古事記の神生みにちなむ35柱の神々のモニュメントが道沿いに並びます。モニュメントは震災で倒れた伊弉諾神宮大鳥居の古材を再利用し、2012年（古事記編纂1300年）を契機に整備されました。神様を見つながら散策してみてください。

①～③5 = 神様の結うとおりモニュメント設置場所
数字は神様が生まれた順番です

③ 淡路ビーフ

淡路ビーフは、淡路島で生まれた但馬牛の中から厳しい基準を満たした希少銘柄。赤身の旨みととろけるサシの両方を味わえます。商店街には淡路牛を一頭買いするこだわりのお肉屋さん軒が並んでいます。

④ = 淡路ビーフ提供店

毎朝早朝に
伊弉諾神宮にお供え
するご神水をくむ
井戸があります。
御祭神は
みずはのめのみこと
水波能売命

4/22神幸式 行きルート

4/22神幸式 行きルート

4/22神幸式 行きルート

4/22神幸式 行きルート

4/22神幸式 行きルート

4/22神幸式 行きルート

4/22神幸式 行きルート

4/22神幸式 行きルート

4/22神幸式 行きルート

4/22神幸式 行きルート

4/22神幸式 行きルート

4/22神幸式 行きルート

4/22神幸式 行きルート